



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社中央経済社ホールディングス
 コード番号 9476 URL <https://www.chuokeizai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 浜田 匡

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	680	7.5	6		5		1	
2020年9月期第1四半期	632	3.1	49		48		36	

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 1百万円 (%) 2020年9月期第1四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	0.48	
2020年9月期第1四半期	9.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,935	3,904	79.1
2020年9月期	5,105	3,933	77.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 3,904百万円 2020年9月期 3,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		8.00	8.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,581	3.7	35		39		21		5.63
通期	3,041	1.0	61	948.6	70	1,169.5	40		10.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	4,398,464 株	2020年9月期	4,398,464 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	667,881 株	2020年9月期	667,881 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	3,730,583 株	2020年9月期1Q	3,730,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加したことを受け、Go Toキャンペーンなどの各種政策が中止されるなど、引き続き先行き不透明な状況が続いております。また欧米では、ウイルスの変異種による感染拡大が一層深刻化し、一部地域でロックダウンが行われるなど、経済活動の長期停滞も懸念されております。

一方、当社グループが属する出版業界では、巣ごもり需要による書籍・雑誌の需要拡大や話題となったコミックの発売による好影響などにより、書籍・雑誌の推定販売金額は前年同期比3.1%の増加（出版科学研究所）となりましたが、出版ジャンルによる二極化が顕著となりました。

このような状況の中、当社グループは、読者ニーズを的確に捉えた企画立案とマーケティングの徹底、既刊本の販売強化と高コスト化する出版流通への対応などを主要なテーマに活動を行ったことにより、書籍、雑誌の出荷額は前年並みとなったものの返品額が減少したことにより売上が増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は680百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失49百万円）、経常利益5百万円（前年同四半期は経常損失48百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

(出版事業)

会計分野では、IFRSに関する実務書として『IFRS「公正価値測定」プラクティス・ガイド』を、また会計学の研究書として『管理会計の挑戦』『セーレンの管理会計』、実務書として『会計事務所の経営支援』『ポイント制度のしくみと会計・税務』『ケースでわかる組織再編における繰越欠損金の申告実務』を刊行するとともに、『注文の多い料理店で学ぶ収益認識会計』が部数を伸ばしました。

経営・経済分野では、今日的なテーマとして『CSR活動の経済分析』『「働くこと」を思考する』、『(シリーズ)ダイバーシティ経営』働き方改革の基本』が好評でした。また、大学教材として『国際ビジネス論を学ぶ』『サプライチェーンのシェアリングモデル』を刊行いたしました。

税務分野では、研究書として『課税権配分ルールメカニズム』、実務書として『図解・表解純損失の繰戻しによる還付請求書の記載チェックポイント』を刊行いたしました。また、社会状況を反映した『アフターコロナの戦略的事業承継「M&A」』が部数を伸ばしております。

法律分野では、研究書として『日米欧競争法大全』『詳説犯罪収益移転防止法』、実務書として『社外取締役の教科書』『図解不祥事の社内調査がわかる本』を刊行いたしました。

企業実務分野では、金融機関に関連した『地域金融の未来』『金融機関のための気候変動リスク管理』が好評でした。さらに、投資に関連した『オルタナティブ投資の実践』『M&A・投資における外為法の実務』を刊行いたしました。

資格試験分野では、行政書士を目指す方向けに『セカンドキャリアとしての行政書士Q&A50』を刊行いたしました。

生活・実用分野では、新規顧客及び商流の積極的な開拓を行ったことなどにより業績が改善し、増収、増益となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は650百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業損失は13百万円（前年同四半期は営業損失53百万円）となりました。

(出版付帯事業)

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、広告媒体が多様化し紙媒体への広告が減少する中、継続取引先の受注増やいくつかの新規取引先を開拓いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は29百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益6百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品の増加23百万円があったものの、現金及び預金の減少147百万円、受取手形及び売掛金の減少56百万円等による流動資産の減少181百万円があったことによるものです。

(負債)

負債は1,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少69百万円、返品調整引当金の減少33百万円及び賞与引当金の減少30百万円等による流動負債の減少147百万円があったことによるものです。

(純資産)

純資産は3,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に期末配当金の支払い等による利益剰余金の減少28百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日に公表いたしました「2020年9月期 決算短信」に記載の業績予想に、現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,302,315	1,155,072
金銭の信託	600,054	600,054
受取手形及び売掛金	982,617	926,154
有価証券	139,805	136,810
商品及び製品	476,789	499,994
仕掛品	77,309	61,608
原材料及び貯蔵品	1,575	1,494
その他	71,394	88,835
貸倒引当金	△1,038	△1,068
流動資産合計	3,650,822	3,468,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,661	83,182
土地	980,229	980,229
その他(純額)	8,804	9,269
有形固定資産合計	1,073,696	1,072,681
無形固定資産		
投資その他の資産	33,159	32,001
投資有価証券	176,638	189,244
繰延税金資産	103,186	102,613
事業保険積立金	49,689	50,456
その他	18,277	19,224
投資その他の資産合計	347,793	361,540
固定資産合計	1,454,648	1,466,223
資産合計	5,105,471	4,935,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,857	387,435
未払法人税等	22,975	4,925
返品調整引当金	74,623	40,958
賞与引当金	44,035	13,578
その他	209,575	213,622
流動負債合計	808,066	660,518
固定負債		
退職給付に係る負債	347,072	353,051
その他	17,264	17,264
固定負債合計	364,337	370,316
負債合計	1,172,404	1,030,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	205,997	205,997
利益剰余金	3,614,184	3,585,924
自己株式	△299,711	△299,711
株主資本合計	3,903,743	3,875,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,322	28,860
その他の包括利益累計額合計	29,322	28,860
純資産合計	3,933,066	3,904,343
負債純資産合計	5,105,471	4,935,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	632,874	680,161
売上原価	483,915	478,493
売上総利益	148,959	201,667
返品調整引当金戻入額	49,522	33,665
差引売上総利益	198,481	235,332
販売費及び一般管理費	247,694	241,831
営業損失(△)	△49,213	△6,499
営業外収益		
受取利息	191	186
受取配当金	1,848	1,457
投資有価証券評価損戻入益	-	10,238
為替差益	199	-
その他	573	153
営業外収益合計	2,812	12,035
営業外費用		
投資有価証券評価損	2,329	-
為替差損	-	247
営業外費用合計	2,329	247
経常利益又は経常損失(△)	△48,730	5,289
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△48,730	5,289
法人税、住民税及び事業税	894	2,937
法人税等調整額	△13,634	569
法人税等合計	△12,739	3,506
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,990	1,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,017	1,783

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,990	1,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,885	△462
その他の包括利益合計	2,885	△462
四半期包括利益	△33,105	1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,131	1,320
非支配株主に係る四半期包括利益	26	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見て一体のものであるといえます。また、当社グループは、全セグメントに占める「出版事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。